

5月・6月の互選句

5月は当季雑詠 (○印)

6月の兼題「梅雨」(◇印)

○髪湿る茅花^{つばな}流しの夕間暮れ

◇留守番の猫が伸びする梅雨晴間

高宮 澄子

○里山の緑に泳ぐ鯉のぼり

◇五月晴れ窓辺に揺れる体操着

田中 君子

○桜^{さくらしべ}蕊ふるバス停の忘れもの

◇紫陽花の堵^{とれつ}列立ち去りがたき里

森山 明

○薰風やコンクラーベの白煙報

◇井戸端の話のすべて梅雨に入る

森木 茂子

○薰風や団地に小さき鯉幟

◇梅雨入りに歓喜の合唱雨蛙^{あまがえる}

大庭 英雄

○痛風の足へ自在な柳絮^{りゅうじょ}かな

◇梅雨寒や灯ともし頃をなほ昏^{くら}く

安田 彰